

## 会議の概要

会議名称	令和7年度 第1回能代市活力ある高齢化推進委員会
開催日時	令和7年7月28日(月) 午後6時45分～
開催場所	能代市役所 会議室9・10
出席委員 (14名)	委員長 瀬川大輔 (地域における保健・医療・福祉関係者) 委員 渡邊耕佑 (介護保険の被保険者) 委員 秋林信郎 (介護保険の被保険者) 委員 小林一成 (介護保険の被保険者) 委員 成田弘子 (介護保険の被保険者) 委員 原田かほる (介護保険の被保険者) 委員 大越 聡 (介護保険の被保険者) 委員 飯坂正美 (介護サービス及び介護予防サービスの事業者) 委員 村岡紘和 (地域における保健・医療・福祉関係者) 委員 渡部昌子 (地域における保健・医療・福祉関係者) 委員 田口和義 (地域における保健・医療・福祉関係者) 委員 土崎博之 (地域における保健・医療・福祉関係者) 委員 山本真紀子 (地域における保健・医療・福祉関係者) 委員 小林詠子 (地域における保健・医療・福祉関係者) (欠席) 安部副委員長、袴田光樹委員、千葉俊彦委員
事務局	市民福祉部 部長 関 俊英 市民福祉部 次長 畠山 徹 市民福祉課 課長 渡部 敬 長寿いきがい課 参事 野呂田則子 長寿いきがい課 課長補佐 藤田広樹 長寿いきがい課 課長補佐 大高雅人 長寿いきがい課 主査 小山内千栄 長寿いきがい課 主査 大久保明子 長寿いきがい課 主査 藤田良平 長寿いきがい課 主任 七尾恵輔  本庁地域包括支援センター 管理者 三浦睦 北地域包括支援センター 管理者 浜野さおり 南地域包括支援センター 社会福祉士 石井大祐 ※二ツ井地域包括支援センター 欠席
次第	開会 委員長挨拶 委員・事務局の紹介 (1) 能代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 ・令和6年度の実績評価の報告 (2) 令和6年度能代市地域包括支援センター事業実績の報告 その他 閉会

### 2 委員長挨拶

### 3 委員・事務局の紹介

#### 4 案件

##### (1) 能代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

・令和6年度の実績評価の報告

発言者	質疑内容
委員	<p>【認知症施策の推進】について            サポーター養成講座の受講者数はいい方向と思う。            ステップアップ講座について、内容といつ頃実施したかを教えていただきたい。            キッズサポーター養成講座についてどのような内容でどのくらい実施したかを教えていただきたい。            また、要望として、他市では1度配布終了したオレンジリングを再開したと伺った。            能代市では養成講座の受講証として何を配布しているのか教えていただきたい。もし            オレンジリング以外であれば、これに戻すことをご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>ステップアップ講座については、年に4回ほど開催しており、内容は回ごとに変えている。            全国のキャラバンメイト連絡協議会からテキストが出ているためそれを用いて講座を開催している。            キッズサポーターについては、小中学生向けに講座を開催している。こちらも同テキストを参考にした内容としており、昨年度の申し込みはなかったが、これまでの実績として平成25年から累計3,000人程受講いただいている。            オレンジリングについて、本市では配布を終了しており、現在は小さいリングバッチやネームプレートに入れられるカードを配布している。オレンジリングの再開については検討したい。</p>
委員	<p>【自立生活の支援】について            おむつ券の対象者は住民税非課税であるが、最近の物価高騰から、使用回数が多い方への補助等はあるか。            また、【施設介護サービスの質的向上】について、質は確かに向上していると思うが、実際の現場の問題としては介護従事者が少ない問題がある。従事者が少なければいくら質を向上させても限界が来ると思うが、今後の見通しは。</p>
事務局	<p>【自立生活の支援】能代市のおむつ券は、要介護1から対象としており、他の自治体と比べて手厚く、本市の目玉事業として取り組んでいる。物価高騰ではあるが、現在それ以上の補助は行っていない。ただ、補助とは少し違うが、医療費控除の対象となる場合がある。            【介護施設サービスの質的向上】介護施設の人材不足について、現時点で市に対して、大幅な人材不足という点について各施設からの声は届いていないが、手段として外国人人材雇用やICTの活用について、市と事業所と一緒に準備を進めている。</p>
委員	<p>【施設介護サービスの基盤整備】について            民間による新たな施設の開設に向けて、建築資材の高騰や建設業界の人手不足等により、工期が予定より延長となることが想定されるとのことだが、令和10年4月の開設に間に合うのか。また、開設済みの介護施設の運営状況は把握しているか。</p>
事務局	<p>若干のスケジュールのずれが生じる可能性があるものの、令和9年度中の完成に間に合うように準備を進めているところである。なお、今年度は土地を取得する予定と伺っている。            特定の施設の評価についてはお答え出来ないが、適切に実施しているものと理解している。</p>

##### (2) 令和6年度能代市地域包括支援センター事業実績の報告

発言者	質疑内容
委員	<p>地域包括支援センターによる活動のほか、社協のまるごと相談員も同様に活動していただいている。それぞれの包括支援センターで社協やまるごと相談員等と協力しあうところはあるか伺いたい。</p>
包括	<p>・社協は全年齢対象の相談で、包括は高齢者を主に担当している。それぞれ教室やステーションの開催で午後からは相談をされていて、高齢者だけではなく障害のある家族がいたり、他の問題で悩んでいる方などがいた場合、社協に情報提供することがある。また逆に社協から心配な高齢者、ご家庭について情報提供をいただくこともあるので、お互いに連携できている。            ・自治会館をお借りし、社協と包括のコラボで出前講座等を実施した。出前講座で心配な高齢者がいれば、そこで社協と密に連携をとって今後の対応を検討することもある。            ・ステーションに相談に来られた方については、ステーションから連絡をいただいで、包括や社協どちらでも相談しやすい方に相談していただけるよう、社協と連携している。また、必要に応じて、相談者の情報共有や関係者を集めた会議も開催している。</p>

## 5 その他

・次回は令和8年2月18日に開催。

発言者	質疑内容
委員	<p>自治会長という立場から、最近では地域の力が弱くなっていると感じている。地域住民が減り、若者も居なくなり空き家が増えている。地元紙で「限界自治会」という言葉を見たが、役員が誰かもわからず、会計報告も無いような自治会を指している。様々な会議に出席すると「地域と連携をしながら」という話がでるが、自治会も減っている以上、こういった問題にどのようにポイントを合わせていくか、我々がどうかかわるべきかということの一つのテーマとして話し合っていかなければならないと考えている。</p> <p>市には、自治会と連携すると簡単に言わずに、自治会にどう頑張ってもらいたいかなど、そういう問題提起をしていただきたい。</p>
事務局	<p>このような課題は、これからも加速していくものと感じている。自治会連合協議会を所管している担当課と情報交換を行いながら今後の対応を検討していきたい。また、当課ではこうした課題を踏まえ、令和5年度から敬老会を地区主催へ移行しており、その効果として、隣同士や地域のつながりができはじめたこと、災害時の助けの第一歩になったという声が届いている。徐々に開催地区も増え、自分たちの自治会で開催できない場合は隣の自治会と連携して開催するなど、広がりが見えてきている。この取組が課題解決に向けた一つの方法と考えており、力を入れて取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>地域の話で、「敬老会の地区主催移行により、地域のつながりができつつある。」という意見があった。市では費用がかかる事業だがよく実施していただいたと思っている。地域のつながりは市の責任ではなく、住んでいる我々の問題である。どうしたらつながりができるのか、当事者として真剣に考えなければならぬし、それぞれの働きかけが必要である。地域の高齢者の互助を作り上げていくことも我々民生委員のテーマであり、市も努力していただいていると思っている。</p>